

 二輪草学びのエリア (赤塚三中・赤塚小・赤塚新町小・紅梅小・下赤塚小)	令和7年 9月 1日 板橋区立下赤塚小学校 校長 菊池 宏一 学校便り NO. 5 ホームページ http://www.ita.ed.jp/edu/simoaes/
--	---

日光ラボでの学び

校長 菊池 宏一

板橋区では、新しい学びの形となる「いたばし授業スタンダードS」の取組を進めています。「いたばし授業スタンダードS」のSには二つの意味をもたせており、子どもが自分で(Self)学習課題や学び方を選択(Select)する学び方です。本校では、「いたばし授業スタンダードS」を推進するにあたり、6年生による「日光ラボ」を行いました。日光ラボでは、本校の6年生が赤塚新町小学校・紅梅小学校の6年生とともに、日光移動教室を核に、12のラボ(世界遺産ラボ、滝ラボ、戦場ヶ原ラボ、温泉ラボ、食ラボなど)に分かれ(Select)、一人一人が自分の問いをもつ(Self)ところから探究的学習を始めました。たとえば「なぜ家康は日光に墓をつくらせたのか」「戦場ヶ原の名前の由来は」「日光東照宮の建築にはどのような工夫があるのか」など、子どもたちは自分で考えた疑問をもとに調べ学習を行いました。

6月の日光移動教室では、現地での体験を通して新たな発見や気づきを得ました。帰校後は、体験で得た情報や写真、資料等をもとに、自分の問いをさらに深掘りしました。また、5月から6月にかけて3校で4回のオンライン交流を実施し、他校の6年生と学びを共有しました。オンラインによる学びの共有を、本校では3つ目のS(Share)と位置づけました。他校の友達の考えや発表にふれることで、自分にはなかった視点を得たり、新たな疑問が生まれたりするなど、子どもの学びが大きく広がりました。

7月には、ラボごとに探究の成果を発表し合いました。一人1台端末を通して自分の言葉で学びを伝え合う姿には、大きな成長が感じられました。この経験は、6年生にとって、他校の仲間とともに学ぶ喜び、自ら問いを立てて学びを深める楽しさを実感する貴重なものとなりました。

2学期は、この探究の姿勢をさまざまな学習や行事につなげていきます。「自分の問いから始まる学び」を大切にしながら、子どもたち一人一人の成長を支えてまいります。

<6年生の感想より>

- ・神話が好きで、今回戦場ヶ原の歴史という形で神話にふれられてうれしかったです。自分の学校だけでなく、他校と考えを共有することで、より考えを深められた気がします。
- ・私は、人の意見を聞いて新しい発見をし、また調べてまとめるという行程がうまくできました。
- ・ぼくはラボの学習で、問い→発見→問い→発見から、また新しい問いを見つけ出すことを特にがんばれたと思います。
- ・他校の人と関わることはめったにないので、この「日光ラボ」は本当にいいなと思いました。他校の友達の問いや調べたことは、とても興味深かったです。



戦場ヶ原でのハイキング

9月の予定

※SC・・・スクールカウンセラー

日	月	火	水	木	金	土
	1 始業式	2 給食始 計測5・6年 NIEタイム SC相談日	3 委員会 計測3・4年	4 計測1・2年	5 集会 NIEタイム 避難訓練	6
7	8 朝会 たちばな指導始 栄養士実習(始)	9 NIEタイム SC相談日	10	11 安全指導	12 NIEタイム 4時間授業 (5-2 研究授業) 栄養士実習(終)	13 寺子屋 教室
14	15 敬老の日	16 道徳授業地区 公開講座 教育実習始 SC相談日	17 クラブ	18	19 なかよし班活動	20
21	22	23 秋分の日	24	25 ごみの学習出前 授業(4年)	26 集会	27
28	29 体育朝会	30 歯科検診				

※予定は変更される場合があります。ご了承ください。

道徳授業地区公開について

9月16日(火)に、道徳授業地区公開講座を実施します。5校時に各学級にて道徳の公開授業、6校時に体育館にて全体保護者会及び講演会となります。講師は、元東京都小学校道徳研究会会長の北村 博先生です。道徳についての意見交換を通して、学校や家庭・地域がともに一体となって道徳教育を推進していく機会と考えています。詳細は、道徳授業地区公開講座のお知らせをご覧ください。

熱中症にご注意

2学期も高温になる暑い日々が予想されます。引き続き、熱中症になる可能性も高くなっています。熱中症は、暑さや湿気、水分不足などの環境要因が原因で起こる症状です。学校では、子どもたちの健康を第一に考えており、暑さ指数(WBGT)が30度を超えた時点で、休み時間の外遊びをはじめ、全ての運動や屋外活動は取りやめにしています。十分な水分補給や適切な休憩を心がけ、健康に過ごせますようご家庭でもご指導をお願いいたします。

令和7年度 健康づくりフォーラム ～本校の取組を発表しました～

8月21日(木)に、東京都教育委員会主催の「健康づくりフォーラム」が開催され、本校も代表校の一つとして発表しました。「体育・保健・食育を通して健康で活力に満ちた児童を育成」をテーマに、子供たちが日々の学習や生活で培っている力や取組を紹介しました。

今回の発表を通して、学校での実践を整理し、今後の教育活動に生かす機会となるとともに、他校の取組からも学びを得ました。これからも子供たちの健やかな成長に還元してまいります。なお、事前申込をされた方は、9月下旬より約3か月間、オンデマンド配信でご視聴できる予定です。

～ 先生方の研修をご紹介します ～

第5学年 研究授業 家庭科「下赤給食 サラダレシピ対決」 5年3組 松村 爽花

5年3組担任の松村爽花です。6月26日（木）に食育をテーマにした研究授業を行いました。家庭科として初めての調理であったため、調理の大切さや安全な調理の仕方を理解できるように授業を進めていきました。本単元では、ゆでる調理のみを取り扱いました。おいしく食べるためには、ゆで方やゆで時間が食材によって変わることを学習しました。

本単元の第1時で本校のゆで野菜サラダの残菜率を提示しました。はじめに、自分のクラスの残菜について振り返ると、全部食べているという児童が多くいました。一方である1日のゆで野菜サラダは60人分残菜となっていました。この事実を伝えると、児童から「もったいない！」という驚きの声が多く聞こえました。そこからゆで野菜サラダの残菜率を減らすために、市村梨紗学校栄養職員からおいしいサラダのレシピを作ってほしいとの依頼を受け本単元の学習が始まりました。



研究授業当日は、児童が家庭科で学習した食材のゆで方のちがいを生かして、調理計画を作成しました。本校の教員が数名アドバイザーとして授業に参加し、児童が作成した調理計画について助言を受けられるようにしました。また、効率よく調理を行うために、グループで話し合いながら計画を立てていました。授業の最後に、給食で使っている調理計画表を提示しました。児童が今回作成したサラダだけではなく、全てのメニューの計画が載っておりより複雑なものです。毎日、学校栄養職員や調理員が作成していることを伝えると、児童から、「おお…！」「すごい…！」という感嘆のつぶやきが聞こえました。日頃の給食や献立に対して児童が新しい見方を発見した瞬間だったように思います。

次時では、調理計画をもとにサラダを作りました。実際に試食をしてみて、達成感を感じている中、「野菜をもっとゆでた方がよかった」とよりおいしくするために調理の仕方を考えている児童の様子も見られました。

2学期にクラスごとに考えたサラダレシピが給食で提供されます。5年生の児童は、全校児童がおいしいと思えるようなサラダを考えました。児童が一生懸命に調理をしたり計画を立てたりする様子を見て、どのようなサラダを食べられるのが楽しみです。

この授業だけでなく、年間を通して食育に取り組んでいくことで、今回の学びがより深まっていくと考えています。

日頃の授業でも日々研鑽していきます。

